

第12回国際みなとまち大学リーグ国際セミナーが開催されました



PUL2018 記念写真

2018年10月16日（火）から10月17日（水）、第12回国際みなとまち大学リーグ国際セミナー“Green Technology and Sustainable Development for Port Cities: Challenges and Solutions”がベトナム・ホーチミン市工科大学（オーガナイザー：ゲン・ダン・タオ副学長）により開催されました。

10月16日は、開会式及び国際みなとまち大学リーグ（PUL）加盟大学等の参加者による研究発表が行われました。

開会式では、ゲン・ダン・タオ副学長、横浜国立大学中村文彦理事（国際・地域・広報担当）・副学長による挨拶が行われ、横浜国立大学荒木一郎国際社会科学研究院教授、仁川大学校チェ・ゲウン都市環境工学部教授、ホーチミン市工科大学ヴォ・レ・フー環境天然資源学部長による基調講演が行われました。その後、4つのセッションに分かれて発表が行われました。各セッションでは会場から多くの質問があり、活発な議論が行われました。



会場の様子



セッションの様子



記念品贈呈

10月17日の午前中には、今後のPUL運営のための会議が行われ、中国の山東大学と韓国のゲント大学仁川グローバルキャンパスがPULの新規メンバー校になることが決まりました。

また、午後には有志による市内視察ツアーが行われました。



市内視察ツアーの様子

今回のセミナーでは、新たにメンバー校を迎えることになり、PUL ネットワークの更なる発展が期待できる会となりました。

第12回 PUL 議事録 (PDF)